

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	生涯学習推進事業			事業番号	11-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部	大山 剛	社会教育課	山内 温子	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	6	いつまでも学び生きがいがあるまちをつくる	
		施策	11	学習成果を生かせる生涯学習の推進	
予算事業名	文化振興事業費/生涯学習推進事業費 公民館活動事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→		法令上の位置づけ	義務づけ規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成25年度	～	終了年度	
関連法令等	教育基本法第3条、社会教育法第3条第3項				
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画	伊勢原市第2期教育振興基本計画、伊勢原市生涯学習推進指針			計画期間	平成30年度～令和4年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	市民の生涯学習活動に対する意識は高まり、公民館講座やサークル活動等を通して、その輪が広がっています。地域と連携して生涯学習環境の充実を図り、そこでの学びを地域へ還元できる仕組みを作ることで、生涯学習活動の更なる推進をめざしています。				
目的 (何をどうしたいのか)	幼児から高齢者までの幅広い年代の市民に、生涯学習活動の機会を提供することで自発的な活動を促すとともに、生涯学習推進リーダーの養成を推進し、学習成果を生かせる仕組みづくりに取り組みます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	学習の機会を求める市民、家庭教育支援を必要とする親など				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習を推進するため、学習成果を生かせる仕組みづくりを行うとともに、推進する担い手を養成します。</li> <li>大学や企業、市民団体等と連携し、各種講座の充実を図ります。</li> </ul>				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	いせはら市民大学講座	講座開催 リーダー養成	講座開催 リーダー養成		
	市民活動団体や地域団体との連携	事業の立案・実施	事業の立案・実施		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			令和3年度	令和4年度	
	公民館利用者数	95,000人 (令和2年度)	254,000人	254,000人	



事業実施 (Do)

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	参加者とともに、運営側も体調管理に気を付けながら、市民ニーズに合った魅力的な事業を企画していきます。また、健康づくりや市の施策と関連した事業を活用することで、社会の要請を踏まえた生涯学習を推進していきます。		
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	○すべて直接実施                      ●左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b>
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>
	<input checked="" type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>
	いせはら市民大学・楽しい講座実行委員会		
	市民協働事業		
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>	
		<b>令和3年度</b>	<b>令和4年度</b>
	いせはら市民大学講座	講座開催 リーダー養成	
	市民活動団体や地域団体との連携	事業の立案・実施	
<b>実施した取組の内容</b>	<input type="checkbox"/> 「第17期いせはら市民大学・楽しい講座」 <input type="checkbox"/> 「中央公民館防災ビデオ」 <input type="checkbox"/> 各公民館で各種講座、講演会		
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状値】</b>	<b>年度</b>
			<b>令和3年度</b>
			<b>令和4年度</b>
	公民館利用者数	95,000人 (令和2年度)	156,654人

<b>コスト</b>	<b>年度</b>	<b>令和3年度 実績</b>				<b>令和4年度 実績</b>			
	<b>内訳</b>	<b>事業費合計 (a)</b>	363	千円			千円		
		<b>国県支出金 ①</b>	0	千円			千円		
		<b>地方債 ②</b>	0	千円			千円		
		<b>その他特財 ③</b>	0	千円			千円		
		<b>一般財源 (a)-①-②-③</b>	363	千円			0	千円	
	<b>国県支出金の内容</b>								
	<b>その他特財の内容</b>	<b>受益者負担</b>	○有      ●無		<b>前回の改定時期</b>				
		<b>その他</b>							
	<b>人件費</b>	<b>正規職員</b>	0.01	人	82	千円		人	千円
		<b>その他の職員</b>	0.1	人	304	千円		人	千円
		<b>人件費合計 (b)</b>	0.11	人	386	千円		人	千円
	<b>トータルコスト (a)+(b)</b>		749		千円			0	千円
	<b>単位当たりコスト</b>	<b>対象数</b>	<b>定義</b>	公民館講座等参加人数			単位		単位
			<b>対象数</b>	3,217	人				
<b>総事業費 / 対象数</b>		233	円				円		

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いせはら市民大学」は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、状況に合わせて講座を実施しました。中央公民館防災ビデオは、公民館利用サークルが作成し、ホームページに掲載し、利用者が公民館で被災した際の注意を常に確認できるようにしました。</li> <li>コロナ対策の状況により、公民館の利用制限を見直したことから公民館利用者数は、回復途上にあります。</li> </ul>
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍での実施でしたが、学びの機会を可能な限り提供できるよう、感染症防止対策を講じながら講座、講演会を実施しました。</li> <li>対面で実施できなかった講座、講演会については、動画を撮影し、WEB配信により対応しました。</li> </ul>
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動団体や地域団体と共に事業を実施することは、市民目線での考え方を企画・運営に反映できるので、市民ニーズに沿った生涯学習の推進に効果があります。</li> </ul>
効率性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	B	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>協働事業の実施にあたっては、団体と行政との役割分担をしっかりと定め、効率良く実施できるようさらに精査する必要があります。</li> <li>学びの機会を可能な限り提供できるよう、事業の実施方法として、WEB配信講座を増やすことや対象を広げることを検討する必要があります。</li> </ul>


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	事業内容については、社会の要請を踏まえた内容となるよう精査すること及びコロナ禍の中でも感染症対策を講ずることにより、学びの機会を可能な限り提供する必要があります。
令和4年度の取組方針		参加者とともに、運営側も体調管理に気を付けながら、市民ニーズに合った魅力的な事業を企画していきます。また、市民団体や地域団体と協力することや、市の施策と関連した事業を活用することで、社会の要請を踏まえた生涯学習を推進していきます。		
所管部長による総評		市民団体や地域団体と協力して、生涯学習推進事業に取り組むことは、地域の活性化、ネットワーク化につながります。関係する部署とも連携を図りながら、社会の変化、市民ニーズを踏まえて生涯学習事業を推進してください。		